



1月の星空を見よう



☆この冬だけの特大三角形

この冬は夜空でひとときわ明るくかがやく木星・火星・シリウスの3つをむすんで巨大な三角形をえがくことができます。木星と火星はやがて位置が変わっていきますので、期間限定の特大三角形です。冬の大三角（シリウス・ベテルギウス・プロキオン）よりもさらに大きな三角形が目立つという、めずらしいながめをたのしめます。



すばる(プレアデス星団) (写真/国立天文台)

☆おうし座「すばる」を見つけよう

オリオン座の三ツ星をはさむように、木星とシリウスがかがやいています。木星の近くに1等星アルデバランと、すばる(プレアデス星団)も見つけてみましょう。ふだんはオリ

オン座の三ツ星→おうし座のアルデバラン→すばる、の順にたどるのが、すばるの見つけ方の王道です。すばるは「羽子板星」という和名もあります。肉眼ですばるの星がいくつ見えるか数えると、視力や空の状態のチェックになります。



明るい星ばしでできる三角形や六角形とすばるの位置。(木星と火星は1月中旬の位置)

☆火星中接近

地球と火星は、およそ2年2か月ごとに接近をくり返していますが、2025年1月はちょうど接近のタイミングで、最も接近する日は1月12日です。このとき地球と火星との距離は約9600万kmで、明るさはマイナス1.4等です。最接近距離は接近のたびに異なり、2025年1月の接近は大接近でも小接近でもなく中接近といえます。この1月はふたご座のカストルとポルックスとならんで、3兄弟のように見える日もあるでしょう。